



ひじ 議会だより

2013

No.92

題字は日出小6年 上野 真穂 さんです

平成25年 4月 25日 (年4回発行)

発行: 大分県日出町議会

電話: 73-3135

目次

3 月 定 例 会

- 予算常任委員会 2
25年度当初予算
- 常任委員会 4
総務委員会・産業建設委員会・社会厚生委員会
- 一般質問 6
8人が町政全般を質す
- 町民の声 14



議員が編集した
手づくり議会だよりです

春爛漫(日出小学校校庭)

議会などの審議の記録は町のホームページでもご覧いただけます。

25年度

3月定例会

3月定例会は、3月1日から21日までの会期で開かれました。初日の本会議では、町長から施政方針を含め、議案に対する提案理由の説明が行われ、25年度一般会計をはじめとする予算関連議案と条例改正など議案39件、発委2件、発議1件を21日間にわたり慎重に審議しました。

- 一般会計予算
- 国民健康保険
- 特別会計予算
- 職員の給与に関する条例の一部改正

の3議案は、14対1の賛成多数で可決。その他の議案は全会一致で可決しています。

一般質問は8人が登壇し、町政についてそれぞれ当局の所信を質しました。

一般会計予算 90億9700万円

公債費 借入金25年度返済分)
9億7,947万円 (10.8%)

平成25年度末の公債費残高は
見込み額で 101億28万円

災害復旧費・予備費
3,372万円 (0.3%)

議会費

1億5,537万円 (1.7%)

議員報酬 8,178万円
職員人件費 5,949万円
補助費物件費 1,410万円

教育費 8億8,714万円 (9.8%)

小学校費 1億6,827万円
(うち豊岡小学校建設 5,758万円)
中学校費 6,271万円
幼稚園費 1億4,166万円
(うち園舎耐震補強 1,170万円)
社会教育費 2億2,579万円
給食センター費 1億2,718万円
教育委員会、事務局費 1億2,579万円

総務費

11億444万円 (12.1%)

人件費 7億8,472万円
普通建設費 3,649万円
物件費 2億1,355万円
補助費等 6,968万円

一般会計 当初予算 歳出

目的別内訳と
主な項目
()は構成比

消防費

4億6,449万円 (5.1%)

杵築速見消防組合負担金 3億7,769万円
消防団員報酬 836万円
防災行政無線整備工事費 1,558万円
避難地整備工事費 600万円
人件費 1,693万円

民生費

31億7,511万円 (34.9%)

児童手当など扶助費 4億9,784万円
児童運営費 保育園児就学補助) 6億6,050万円
障害者支援など 5億6,491万円
国民健康保険へ繰出し 1億3,932万円
介護保険へ繰出し 3億3,245万円
後期高齢者医療繰出し 7,292万円
後期高齢者医療療養給付費負担金 3億1,997万円
補助費等 7,268万円
物件費・貸付金等 1億2,689万円
人件費 2億3,263万円

商工費・農林水産業費

4億7,090万円 (5.2%)

商工会、観光協会助成金 1,485万円
かれい祭り 行事負担金 823万円
シルバー人材センター補助金 641万円
農林畜産業振興費 5,590万円
農業土木中山間整備事業 2,816万円
水産業振興費 1,221万円
浄化センター繰出金 4,586万円
地籍調査費 3,906万円
農業 漁業集落排水事業へ繰出し 4,683万円
人件費 1億9,164万円

衛生費 7億4,773万円 (8.2%)

予防接種・がん検診等 1億 464万円
母子保健費 1億1,481万円
ごみ収集運搬手数料 7,859万円
合併処理浄化槽設置整備補助 636万円
秋草葬祭場 藤ヶ谷清掃センター等負担金 1億6,816万円
環境浄化センター負担金 1億1,055万円
人件費 1億2,286万円

土木費

10億7,719万円 (11.9%)

道路新設改良費 3億6,833万円
道路維持費 4,965万円
道路舗装改良費 1,600万円
暘谷駅周辺整備事業 1億3,560万円
公園管理委託料 1,450万円
公共下水道繰出金 2億5,963万円
町営住宅管理 1,433万円
人件費 1億3,805万円

一般会計・特別会計の総額と前年度比

会計区分	一般会計	特別会計	国民健康保険	簡易水道	公共下水道事業	漁・農集落排水事業	介護保険	後期高齢者医療
予算額	90億 9700万円	69億 7552万円	31億 1897万円	1682万円	9億 6431万円	7634万円	24億 5325万円	2億 7512万円
前年度比	3.9%減	1.7%増	6.2%増	47.2%増	2.6%減	2.0%増	3.8%増	1.6%減

予算審議

25年度一般会計当初予算は90億9700万円、前年度比で3億6900万円の減額です。

主な歳入では、町税は27億7937万円、前年度対比3591万円の増加、普通交付税は21億円で6000万円の減少を見込んでいます。町債は9億5890万円、対応する財源を補てんするため、財政調整基金から3億7500万円、減債基金から1億5000万円を繰り入れます。

歳出では、義務的経費（人件費・扶助費・公債費）が48億5740万円で、前年比0.2%の減少となり、投資的経費が9億8808万円で前年比28.5%の減少、その他の経費の総額は、32億5152万円となっています。

主な重点施策

社会的弱者の保護

障がい者の自立支援事業、高齢者や乳幼児の疾病予防事業、生活困窮者の支援事業の充実

健康づくり

がん検診推進事業や子宮頸がんなど予防事業を継続実施し、心身の健康増進と食育の推進

安心子育て環境づくり

・さざんか保育園の施設整備補助と町立幼稚園舎の耐震補強

・乳児家庭全戸訪問事業や児童虐待防止対策事業の継続

防災体制の強化

防災無線整備と避難所案内板の設置、防災資機材の充実

エネルギー対策

住宅太陽光発電システム設置費の補助生ゴミ減量化のため、生ゴミ処理器設置費補助の増額

定住促進

雑誌「いいとこ・いいひと」を作成して町外に向けて町の良さをPR、日出町出会いの場応援事業」の継続

国際性豊かな人材育成

小中学校に語学指導助手を招致、引き続きAPU学生との農業体験交流や食文化交流を実施

農業の活性化

少量他品目栽培を可能にする小規模ハウスの導入支援、「経営規模拡大チャレンジ支援事業」を継続実施し、農業者を総合的に支援

水産業の活性化

・ひじんうみ創生プロジェクトとして、藻場の再生や養殖適地・地下水調査を行い、資源増産に努める

・日出の鱧（はも）ブランド化事業」として、加工技

術や販路開拓に取り組み

商工業の振興対策

地元商工業者の販売促進と地域経済の活性化を図るため、「プレミアム商品券」発行を補助、また、ご当地グルメを調査し、内外にPRすることで町内飲食業の活性化を図る

陽谷駅周辺整備

駅前広場と自由通路の施設設計、また一部用地を取得し、JRとの境界に擁壁を建設

歴史的街並み保存

日出城跡を中心に歴史的街並み保存を目的として、致道館と周辺石垣を保存整備

新規に道路整備

川崎地区丸尾線、大神地区三反田原山線、藤原地区江島線などを道路改良し、生活道路を整備促進

25年度に大幅な繰越

学校耐震完了

国の大型補正予算で、25年度に予算計上を予定していた藤原小学校舎と大神小学校舎・屋内運動場、大神中学校屋内運動場の耐震補強事業費が24年度予算で計上され、3億7517万円が繰り越されます。これで早期着工が見込まれ、幼稚園を含めて、今年度で学校関係の老朽化に伴う改築と耐震補強は全て終了することになります。



慎重審議する委員会

常任委員会

総務

議案の審査結果

区長の委嘱

25年度から区長を非常勤特別職公務員として町が委嘱するもので、報酬は従来と変わりません。目的は町と区の連携を強化し、防災対策やコミュニティの絆を深める活動で役場と連絡を密にしていきます。

職員の給与減額

役場職員や特別職の給与の削減を25年度も引き続き行っていく予定です。

その他、4議案（付託議案3件）は、全て全会一致で可決です。

老人会長の負担軽減

老人会の解散や役員のなり手がいないという事態が続いています。原因は会長などの出席を求めるとの負担が多すぎるためと考えられるので負担を軽減するよう要望しました。

メガソーラーの建設

豊岡西区日平の町有地にメガソーラー基地建設のための貸借申請が出ています。工事による災害が発生しないよう確認を求めました。

地域通貨の終了

6年間続いた地域通貨が終了します。想定していた程度の流通が無く、使用も特定の施設に集中したため廃止となりました。町費の持ち出しは累計950万円です。

郵便局での納付

4月から郵便局で町税や使用料などの納付ができるようになります。コンビニ収納は8市町村の共同利用を検討中です。

閉会中の審査

2月5日開催
町内沿岸部の避難場所や経路の現地調査。

豊岡漁港

避難場所に適当な所が無く、特に津波時に対応するため、ロイヤルホテルと災害協定を結び、住民



避難経路を調査（日出港）

に周知してもらうよう要請しました。

日出港

北浜・南浜地区は定期的に避難訓練が実施されており、避難経路も確認されています。

川崎ふれあいセンター

鉄道線路を越えての避難となります。

大神港

すぐ後ろの高台まで、避難訓練も行っています。

八代漁港

対策は万全のようです。

真那井漁港

漁港近辺は高台がありますが、地区全体は平坦で、片上付近まで避難する必要があります。

今後の対策

- 1、要援護者対策は、行政・警察・民生委員・消防で十分な連携を行い、情報の共有化を図ること
 - 2、1年1回は避難訓練を行うことを各区にお願いする
 - 3、リアカーなどの機具は現場に保管すること
 - 4、太陽光発電による避難灯の設置
- 以上を要望しました。

産業建設

議案の審査結果

町道の構造の規定

道路法が改正され、これまで政令の規定に準拠した取り扱いが行われてきた基準などを条例で定めるものです。

公園のバリアフリー化

高齢者、障がい者の移動などの



待ち望まれていた大型遊具(大田公園)

その他、5議案(付託議案9件)は、全て全会一致で可決です。

城下かれい祭り

例年ゴールデンウィーク直後の土日に行っていました。その時期は休漁期明けのため魚の調達が困難で、開催時期を1週間後にずらし、5月18、19日に開催します。

閉会中の審査

2月6日開催

シルバー人材センター

新事務局長は33名の応募の中から1名、事務職員は46名の応募の中から1名を採用しました。人員補充により、局長1名、事務職員2名の体制となりました。夏の繁忙期には会員の中から1名が受注担当として対応します。

現地視察

事務所へ出向き、新体制での運営状況を聞いたところ特に問題はないとのことでした。その後、川崎地区で伐採作業をしている現場を視察しました。

円滑化促進に関する法律の改正が行われ、これまで政省令によって定められていた施設の基準を条例で定めるものです。

使用料条例の移動
都市公園法が改正され、都市公園の配置などの技術的基準を条例で定め、併せて、都市公園施設の使用料の規定を使用料条例から削除して、新たに公園施設の設置および占用使用料を都市公園条例に追加して、一部改正を行うものです。

占用料の徴収
太陽光および風力発電設備の設置の増加や津波避難施設を設置したいとの要望を踏まえて、道路法施行令に占用許可対象物件として加えられました。

社会厚生

議案の審査結果

インフルエンザ等対策本部

緊急事態発生時に、対策本部を設置する必要があります。条例を整備します。

学校給食センター

学校給食共同調理場からの名称変更に伴う条例の整備です。

文化財施設条例

致道館管理条例に、鬼門櫓を追加して条例名を改めます。

文化財保護委員

委員の定数を、5人以内から10人以内に改正します。

おおいた広域窓口サービス

今年8月から、新たに玖珠町が加わるための協議です。

その他、5議案(付託議案10件)は、全て全会一致で可決です。

閉会中の審査

2月14日開催

現地視察

給食センター

調理・配送部門を民間委託している、先進地の大分市西部共同調理場の視察研修を実施しました。新年度になってから、プロポーザル方式で業者選定を行い夏休み明けの9月から民間委託を実施する予定です。

豊岡小学校校舎改築

1月から本格工事となった関係などで、順調に推移していますが完成は6月末になる予定です。

3月14日開催

教育委員と情報交換会

教育委員全員と教育長・教育総務課長出席のもと「現状と課題について」の情報交換会を行いました。図書館や給食センター建設、南端小中学校の今後、幼保小連携推進など、活発な意見が交わされました。

今後は、年に2回の情報交換会を実施することを決めて閉会しました。



最新設備の大分市西部共同調理場

一 般 質 問

ここが知りたい
Q & A



佐藤 隆信 議員
(大神地区)

問	答
職員給与7・8%減額に反対する	大変重大な問題です

問

政府は、地方公務員の給与を国並みに7・8%減額するために、地方交付税の削減を行うとしています。町の職員が7・8%の給与を減額した場合、年間どれくらいかの給与の削減になり、そして一人当たりの減額はいくらになりま

財政課長

国の想定どおり給与削減を今年度の7月から3月まで実施するとすれば、職員1人当たり月額2万6600円となり、

問

給与削減された時、町職員の納める所得税・住民税はど

れくらい減額になりますか。

財政課長

また、給与の減額で購買力はどれくらい落ちますか。給与削減では何も良くならないと思います。町の対応は、

町長

24年度課税で試算すると、個人住民税、所得税ともに約435万円となり、購買力は推定約4000万円です。

問

いろいろな影響が出てくることは間違いありません。大変重要な問題で、4月以降の課題です。

県知事は国に対して困ると言いましたが、町も町村長会議の中で、削減を行っては困ると意見書を採択するべきではないですか。

町長

給与7・8%削減は、問題ありとして、町村会議では意見書提出の動きがありますし、私も賛同していききたいと思っています。ただし、国の基準に合わせないと、給与水準が全国的にも上位になつてしまいます。本当に悩ましい問題であります。慎重に検討し、議会の皆さんとも相談したいと思っております。

問

地域の健康づくりに力を

「健康保険が高くて払えない」「介護保険料が高い」は多くの住民の声です。これに答えるには医療費を抑え、住民に健康になってもらうことです。そのためにもどのような施策を行いますか。

健康増進課長

町民一人ひとりが健康意識をもつことが最も重要で、行政は、町民自らの意思で率先



一人ひとりが健康づくりの実践を

質問を終えて
町づくりは具体的な目標をもって計画をたて行うこと。

して健康づくりを実践する体制を支援していくことが必要となります。検診や予防接種の受診率の向上はもちろん、自主的に活動している地区や任意団体を支援し、活動を拡大していきたいと考えています。

・その他に「町づくりの重要課題」の質問がありました。



藤井 博幸 議員
日出地区)

問	答
総合型スポーツ クラブ設立の経緯は	国のスポーツ振興基本 計画によるものです

問

クラブの施設利用状況と優先度は。

生涯学習課長

体育協会加盟団体と同様の取り扱いで、年間計画で空いている場所を抑えています。

問

運営にかかる経費と今後の関わりは。

生涯学習課長

23年度から5年間は、日本スポーツ振興センターから10分の9の自立支援補助を受け、その後は先進地の事例をもとに模索しているところであります。法人格を取得すれば3年間補助の延長ができるのでこの方向で考えています。

また、視察で行った三重県いなべ市の医療費削減など、行政に貢献することで補助を

問

健康増進にかかわることでのどのくらいの助成が受けられますか。

生涯学習課長

医療費の削減に貢献したということで数千円単位の補助金を受け取っている例もありますが、町ではクラブの内容から考え、健康増進課、総務課、政策推進課と連携協議し補助が出ればと考えています。

福祉センター駐車場増設

問

福祉センターグラウンドを全天候型施設に。

福祉対策課長

建設されてから12年が経過し、老朽化が顕著で、緊急性のあるものから逐次修繕をしており、必要性や緊急性、財政面も含め十分に精査していく必要があると考えています。

問

駐車スペースが少ないためマナーを守らない人がいます。駐車場の増設を考えると。



この部分

駐車スペースを増設する福祉センター

福祉対策課長

警察署側植え込み部分を改修し、32台分計画してまいります。

特急電車の停車駅に

問

JR日出駅には都市計画道路の堀・竹光線、友田・竹光線と駅周辺を通る道路の計画があり、周辺整備をすれば特急電車を止め観光に寄与できるのでは。

政策推進課長

JRと暘谷駅整備は、3月に協定が結ばれ、将来ビジョンが確定されれば、町の玄関として交通の要衝となり、利便性が高まります。暘谷駅、日出駅など町内の駅が特急電車の常時停車駅になるよう地元の方々と期成会を作り強力に要望を展開してまいります。

質問を終えて

健康増進はお金をかけなくてもできます。



熊谷 健作 議員
(豊岡地区)

問
教員による体罰は？

答
体罰調査委員会で
現在調査中です

問

実際に体罰があると聞きま
すし、容認する声もあります
が、体罰と懲戒の線引きは。

教育長

文科省から具体例を示され
ています。

いじめ問題

問

いじめの調査結果で学校毎
に大きな差異があるのはなぜ
ですか。

学校教育課長

アンケート調査の説明方法
を各校共通にしていきます。

問

ある学校で「ブログによる
いじめ」がありました。その
対処と今後の取り組みは。

学校教育課長

ブログをまず削除し、書き

問
教員による体罰は？

答
体罰調査委員会で
現在調査中です

込みをした生徒から被害者に
謝罪させました。今後、生徒、
教職員、保護者にそれぞれ研
修会を実施していきます。

給食センター

問

民営化の時期、委任方法、
安全管理はどう考
えていますか。今なぜ
民営化？

教育総務課長

25年度中にプロ
ポーザル方式で業者
を選定します。衛生
管理は最善の注意
を払い、国の基準に
沿って行います。

町長

正規職員を補充せ
ず、非常勤の人を中
心とした体制になつ

ているからです。

問

アレルギー食の対応は？

教育総務課長

アレルギー対応表を作成
し、食器も分けて担任の先生
に確認させています。

万里図書館の建て替え

問

陳情が議会に出され採択さ
れました。今後の町長の考え
は。

町長

学校の耐震化や給食セン
ターの建て替えなど課題が山



建て替えが待たれる（万里図書館）

積しています。何年後にとい
うのは考えられません。

南端小中学校の今後

問

来年度は小中で5名になる
と聞いています。不登校やい
じめの緊急避難所として是非
必要と思われませんが、存続の
ための方策は。

教育長

特任校制度としての役割は
評価されています。しかし、
地元の子どもたちがいること
が大前提です。今後は在校生
が減少すれば休校もやむをえ
ません。

※その他に町長と職員との意
思疎通について質問がありま
した。

質問を終えて
今子どもたちにでき
ることを全力で。



土田 亮治 議員
藤原地区)

問	答
町道などの点検・パトロールの実施は？	主要道は2名の職員で行っています

問 町周辺部では過疎・高齢化などで道路の維持管理ができていない所が見受けられますが、町の管理実施状況は。

都市建設課長

町内全線の点検・パトロールは行き届きませんが、主要道は業務班職員2名で巡回、対応など行っています。また、近隣住民の方や区長からの情報により可能な限り迅速な対応をしています。

問

過疎化・高齢化の進んだ集落への支援は。

都市建設課長

県の高齢化小規模集落への応援隊活用制度、緊急雇用を活用します。活用と併せ、地区の実情を聞き取りながら一定基準のもと、路線の選定、

ボランティアなどの立ち上げ、地区との継続的な契約、業者発注路線の質向上、企業による社会・地域貢献活動など積極的に働きかけたいと思います。

失業問題への対策は

問

テキサスの閉鎖に伴う具体的な失業者対策は。

商工観光課長

工場閉鎖の時期も迫り連絡会議を開催して再就職支援を行っています。現在のところ、約40社270人の雇用が見込まれています。課内に従業員相談窓口を設置し、相談や手続きの説明に対応しています。6月末の閉鎖後も継続して再就職活動の支援を行うよう考えています。

問 今後、他の個別事案が発生した場合、町として同様に対処しますか。

商工観光課長

工場閉鎖により約500人の雇用喪失は県下でも稀で、140人強の町在住者が失業という大きな影響がでました。他の事案の場合、同様に対処するかは、町への影響の大きさによって個々のケースで対応は違ってくると思います。

観光施策は

問

① かわいい祭などの短期イベントの他に通年観光企画は？

② 町内への滞在型観光の取り組みは？

商工観光課長

① 鬼門櫓の完工を期に日出城趾周辺の観光素材の情報発信に努めます。また魅力ある食の創出、他の自治体との連携により観光振興に取り組

んでいきます。
② 宿泊施設の増加から滞在型観光に向けた条件整備ができつつあり、付帯施設を利用したスポーツ合宿の誘客、体験型観光など、観光協会とも協力しながら滞在型観光の推進に力を入れます。

質問を終えて
緊急・災害対策のためにも町道の点検・維持管理を。



魅力ある観光素材に（鬼門櫓）



安部 三郎 議員
藤原地区)

問
戸別補償制度の見直しは

答
継続実施していきます

問

戸別補償導入後、町の22年度から24年度までの対象件数と、金額は。

農林水産課長

対象件数	22年度	23年度	24年度
267件	280件	292件	
5,286万円	4,600万円	4,730万円	

注、22年度変動補填交付金を加算

有害鳥獣対策

問

イノシシ、鹿の捕獲報奨金、支払導入後の状況は。

農林水産課長

23年度通年支払導入をしてから捕獲数が格段に増えてきています。

問

23年24年度捕獲頭数、報奨金と獣害柵などの金額はいくら。

農林水産課長

捕獲頭数	23年度	24年度
報奨金	イノシシ／390 鹿／932.99	イノシシ／44.8万5千円 鹿／93万円
獣害柵など	60基 252万円	64基 268万8千円
防護柵	2カ所 404万6700円	1カ所 150万円



イノシシ対策に有効な檻

耕作放棄地対策

問

町内各地で畑、水田の耕作放棄地が多く見られます。町はどのような対策を行っていきますか。

農林水産課長

国庫補助事業の耕作放棄地再生事業や、新規に24年度から町単独事業の経営規模拡大チャレンジ事業で、農地の再生利用、流動化、集積化を積極的に取り組んでいます。

防災について

問

自主防災組織を活用した防災訓練が各区において実施できていない原因は。

総務課長

日出町は、地震や津波など大きな災害も少なく大丈夫ではという先入観があるのでは。訓練はしたいがノウハウがない、区に指導する人材がないなどの原因があると思います。

問

町民全体の危機意識を高める必要があると思いますが。

総務課長

防災マップを全面改訂して再度各戸に配布します。各区で話しをしてもらい、危機意識の向上につなげてもらいます。

問

今後の訓練計画はありますか。

総務課長

各区の実態に応じた災害を想定し、地区を限定した、避難訓練、防災訓練を計画します。

質問を終わって
消防防災係の体制強化を。



森 昭人 議員
日出地区)

問	答
基金は安定している 新規施策を展開すべき	職員の頑張り に期待

問 現在の町の財政状況をどう評価していますか。

財政課長

17年から行財政改革を着実に推進してきました。その結果、大型事業実施のため、予算規模が拡大した近年でも、基金の積み増しが行われ、起債残高は減少を続けています。現在の財政状況は比較的良好に推移していると考えています。

問

23年度決算では主要2基金残高は15億円、公共施設整備基金は2億円積みまっています。基金の適正額（標準財政規模の10〜15%）は確保され、大幅な減額も考えられません。今後は、基金残高の安定を図りつつ、行財政改革先

行の貯める施策より、福祉向上と町の発展のための新規事業をさらに展開していくべきと考えますが。

町長

長い間1割カットで予算編成してきた過去があります。しかし、そういうことはもうやめて、満額要求する中で、財政課と十分協議をするよう指示しています。各課が真剣に町民のために予算獲得に乗り出すか、財政局との駆け引きで、職員がどれだけハッスルして頑張つてやるかというところに尽きます。

「総合計画」の策定は
条例で定めるべき

問

23年5月交付の地方自治法の一部を改正する法律によ



もっと活用すべき（総合計画等）

適齢期男性職員の
婚活

問

現在、婚活事業を展開していますが、役場内を見ると適齢期の職員（男性）の婚姻率が低いと感じます。まさにそこに問題点を見出し、取り組んでいくべきでは。

総務課長

30〜39歳までの男性職員の婚姻率は確かに低いです。出会いの場をつくるとか、結婚相談員制度の復活など、政策推進課と連携して婚活のための環境整備を図る努力をしたいと考えます。

町長

今後議論して、任意にするか、条例で定めるかの選択を、議会の意見を聞く、あるいは私から提案して条例事項にするか選択すべきだろうと考えています。策定しないという選択はないと思っています。

質問を終えて

若手職員の新規事業提案をおおいに期待します。



工藤 健次 議員
大神地区)

問
職員の意識改革は

答
ある程度の効果は
ありました

問

第2次行財政改革プランで、職員の意識改革を改革の柱の一つに掲げていました。新年度予算で、中央公民館の音響設備事業の不具合を新年早々から直すように指摘しました。それでも使用を続け町民に迷惑をかけている職員の意識は。

教育長

ご利用の方々にご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。ご指摘は何度もいただいています。職員としては何とかお金をかけずに修繕できるのではないかと、自分たちの努力を優先した次第です。

政策推進課長

職員の自覚を養うため資質の向上とスキルアップを目指

問
職員の意識改革は

答
ある程度の効果は
ありました

しこの3年間は、研修に相当の予算をかけ内容も充実させ取り組みましたので、ある程度の効果はあったものと思います。

町長

最優先して取り組んでおり、先頭に立って今後も行っていきます。

問

意識改革推進チームはどうなりましたか。

政策推進課長

若手職員10名で結成し「役場全体が一つのチームとなつて経営感覚を持つ総合行政を目指します」などの基本理念を掲げ「日出町経営基本方針マネジメント21」の作成作業をしていました。これを22年3月、町長に提出したことにより役割を終えました。

工事発注関係の平準化

問

入札平準化で、23、24年度の対比状況をお聞きます。

契約検査室長

年間を通して執行が行われるように早期発注、早期完成を心がけてきました。平準化の観点から見ればまだ不十分であり上期の発注件数を伸ばす必要があります。

年度初めから工事が発注できるように、関係機関とも連携をとりながら努力します。

町長

業者の皆さん方の対応を考えると一段の奮起奮闘が必要で、対策を内部で十分検討させます。

行政サービスの改善

問

試験実施をするといつていた、窓口業務の職員の対面方式の配置は。

政策推進課長

事務室の構造などから物理的に不可能



親切丁寧な窓口対応を（住民課）

で、実施できませんでした。

問

窓口の土・日、時間外業務は。

政策推進課長

時間外の窓口対応は、住民からの連絡で柔軟に対応している状況です。費用対効果の観点から引き続き検討していきます。

質問を終えて
やるように言っても、
やると言っても、やら
ないのは何故。



池田 淳子 議員
藤原地区)

問 国の補正予算に
該当する事業は

答 主にインフラ整備や
耐震化です

問

13兆円を超える国の補正予算により、各自治体が計画している事業を前倒して実施できるようになりました。学校耐震化、老朽化対策や防災機能強化、また、通学路対策が対象になると思いますが、以前にも質問した学校の非構造部材の耐震化は該当しますか。

教育総務課長

非構造部材の耐震化は重要な課題ですが、学校施設の耐震化を優先して進めています。前回の質問以降、夏休みにも各学校の先生方に調査をしてもらいました。ピアノの足のキヤスターの下に動かないようなものを設置したり、棚の固定化など可能なものから順次実施したいと思います。

問

天井など点検の計画は。

教育総務課長

25年度に学校施設の専門技術者の派遣事業があると県から紹介をいただきました。これは、非構造部材などの点検に関する専門的知識を有した者を派遣して点検をする事業です。町も申し込みをしていますが、具体的なことはわかっていません。

問

通学路対策は。

都市建設課長

昨年京都で起きた事故を受けて、教育委員会と一緒に危険個所の把握を行いました。

学校教育課長



整備された城山から別府湾を望む

城山を観光資源に

問

地元の有志の方たちにより、周辺道路も含めきれいに整備された城山をウォーキングコースや観光資源として活用できませんか。

商工観光課長

ウォーキングコースというより、トレッキングコースの分類になるかもしれません。また、城山の展望所からは町が一望できる素晴らしい景色があり、多くの方に見てもらいたいスポットです。地元有志の方たちからも活用してほしいとの働きかけがありました。今後多くの方に歩いてもらうためのマップの作成やホームページでの紹介、イベントの実施、健康づくり協会など各種団体への働きかけなど、観光協会、地域と一緒に取り組んでいきたいと考えています。

町長

危険な個所にはフェンスを設置する必要があります。地元の皆さまと相談しながら対処していきます。

質問を終えて

魅力ある日出町！
多くの方に足を運んで
もらうためのPRを。

町民の声



大神片原津区
三浦 昭



住みよい地域は住民の熱意から

先日、大神地区自治公民館実践発表会に参加した。「春よ来い」のテーマで日比ノ浦区が発表した。当区は大神17区中最小の全戸数26戸（92名）・20歳以下11名・61歳以上が37名の構成で、少子高齢化はどこも同じである。

地区住民の中心になっているのは、40代〜60代の13名で構成された青壮年部で、公民館行事の大神地区体育祭・ソフトボール・ソフトバレー等の運動面や地区の防風林伐採・ふるさと祭り餅つき等で活躍している。

発表の中では、廃材を活用した鳥の巣箱作り・地区内への設置や子ども会を巻き込み、海岸沿いに鯉のぼりを揚げたりの活動をする事で、地域の親睦と活性化を目指した報告がなされた。戸数26戸と小規模であることを逆手にとって、役員を中心に区や大神地区の諸行事に全区民で積極的に取り

組むことで地域の活性化が図られている。

日出町は南に別府湾を臨む温暖な気候で、大きな災害の心配も少ない。さらに、J・R・国道・高速道と交通の便も良く、県都大分市や泉都別府市を通勤・通学圏とする恵まれた地理的条件の下で、合併もせず、単独で人口3万人をめざして順調に発展しており、町民として誇れる町である。

日比ノ浦区の例を見るまでもなく、「住みよい地域・町づくり」には行政側の道路網の整備や働き場所の確保のための企業誘致・生活環境整備等のハード面と自主的な住民側からの地域づくりへの熱意が欠かせないと思う。私ごとながら、4月からは大神地区公民館長として微力ですが、住民主体の地域づくりの一助になりたい。

教育改革に期待します

教育委員会委員

次の方が新しく選任されました。



青木 一氏
(大神・港)

最終日追加議案

議員報酬の5%削減
全会一致で可決しました。

議会の今後の予定

6月
3日 議会運営委員会
12日 本会議 (議案質疑・一般質問)
13日 本会議(一般質問)
14日 常任委員会(予算)
17日〜18日 常任委員会(所管)
19日 常任委員会(予算)
21日 議会改革調査特別委員会 定例会最終日(本会議)

編集後記



先日、日出町内の史跡・名所と呼ばれる処を巡ってみました。

赤松のめがね橋、安養寺経塚古墳、日出藩主木下俊長を祀るといわれる横津神社、今は枯れかけている魚見桜、津島神楽の八津島神社、松屋寺にある天然記念物の大蘇鉄、日出藩校の致道館、三月に完成したばかりの鬼門櫓、日出中学校の大山茶花、大神地区に向かって、風待ち茶屋といわれた襟江亭、最後に人間魚雷「回天」の回天神社と見てまわりました。

丁度、桜、菜の花の時期ということもあり、とても綺麗でした。町内にも良い場所がたくさんあるんだなと改めて認識しました。町民の方だけでなく町外にももっとアピールする必要があるのではと感じました。

(土田 亮治)

編集委員長	森 昭人
副委員長	池田 淳子
委員	熊谷 健作
委員	工藤 健次
委員	藤井 博幸
委員	土田 亮治